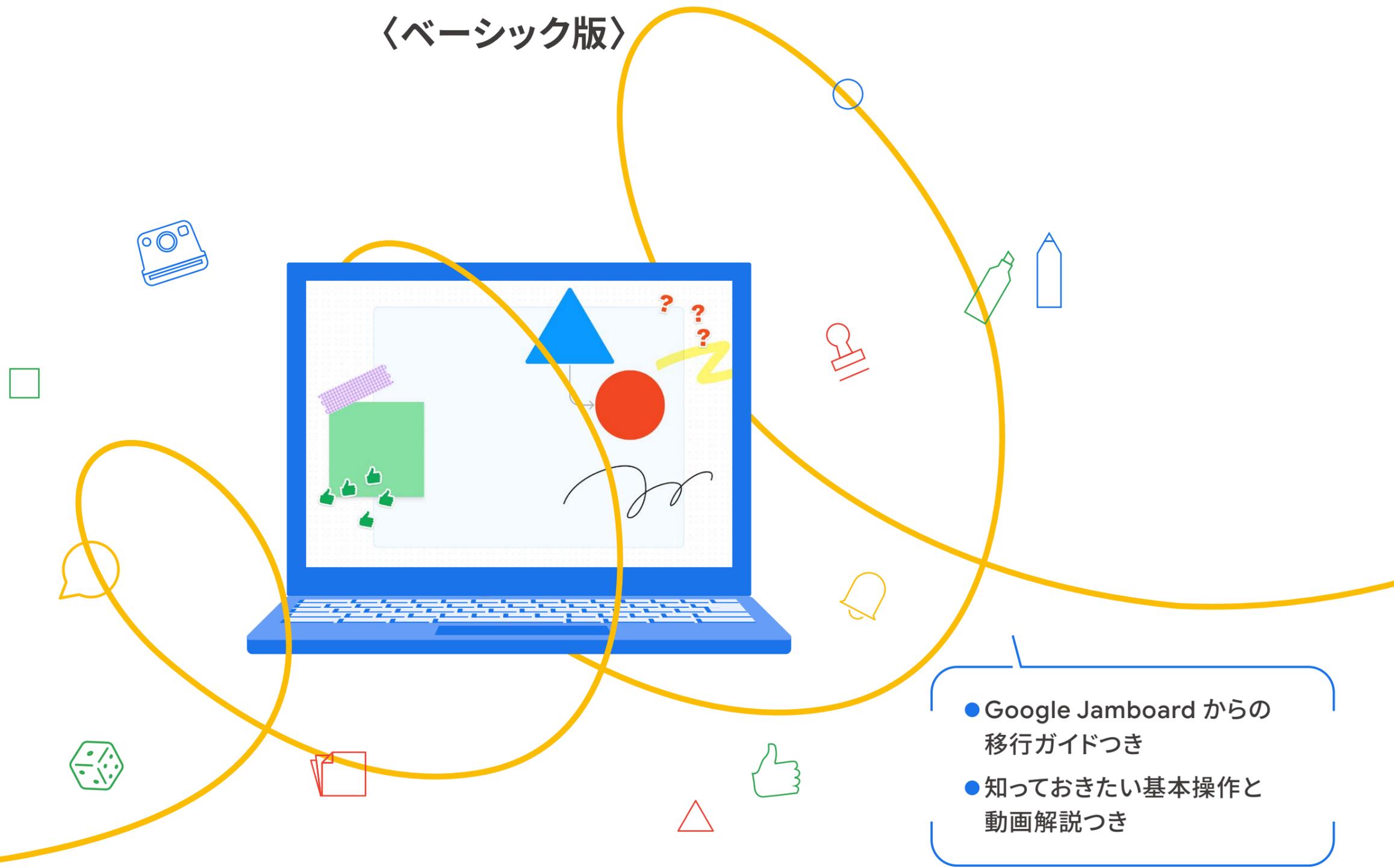


無限キャンバスで広がる・深まる

FigJam 授業実践ガイド

〈ベーシック版〉



- Google Jamboard からの移行ガイドつき
- 知っておきたい基本操作と動画解説つき

FigJam の日本展開と Google Jamboard のサービス終了について

オンライン ホワイトボード ツールである FigJam の日本展開が開始されました。FigJam は、Google Workspace for Education と連携し、Google Jamboard で好評だったシンプルで直感的な操作性を備えたまま、コラボレーション機能を強化しています。

また、Jamboard は 2024 年 12 月 31 日をもってサービスを終了することとなりました。同年の 10 月 1 日から 12 月 31 日まで閲覧専用の状態となり編集や新規作成ができなくなるため、本冊子にて移行方法および FigJam の機能についてご案内いたします。

教育委員会様向け

代替ツールとなる FigJam への移行には教育委員会様ごとに利用申請が必要となります。申し込みから利用開始まではお時間がかかる場合もございますので、**7 月末までに利用申請**を行い、9 月 30 日までに Jamboard からのデータ移行を完了いただくことを推奨しております。

利用申請についての詳細は第 2 章に掲載しておりますのでご参照ください。



お手順をおかけしますが、データ移行の手続きを行っていただき、Jamboard の代替ツールとしての FigJam のご活用をよろしくお願ひします。

※本冊子では、2024 年 4 月時点の情報をもとに、FigJam の機能や学習における利用について紹介しています。

FigJam のヘルプページ

FigJam の最新の機能情報についてご確認いただけます。また、FigJam ボード右下の?からもお問い合わせいただくことが可能です。

<https://help.figma.com/hc/ja>

FigJam 研修

Chromebook ご採用自治体の教育委員会ご担当者様、教職員様向けの操作研修を実施しています。

https://goo.gle/training_fig_figjam

はじめに

ホワイトボード ツールを使うことで、ブレインストーミングをする、自分の考えを可視化する等の活動を行いやすくなり、議論の活性化につながる効果も期待できます。さらにこのツールがクラウド化されていることで、遠く離れた人ともオンライン上で協働できたり、データの保存や共有が容易になったりします。そんな中、教員に積極的にご活用いただいていた Jamboard はサービスを終了することとなりました。

慣れ親しんだツールが使えなくなることへの不安や戸惑いがあるかもしれません。しかし、このようなときこそ柔軟に汎用ツールを使いこなせるかが試されているのだと思います。私たちは Jamboard を使いこなせる子どもを育成することのみに重きを置いてきたのではなく、Jamboard を活用して情報を整理したり、他者とクラウド上で共同作業を行ったり、他者の考えを参照しながら自分の考えを構築できる子どもの育成を目指してきたはず。変化の激しいこの時代、技術革新によって Google 社のツールに限らず、今後もさまざまなサービスの終了やアップデートに伴う仕様の変更等は想定されます。どのような状況であっても、新たな環境に柔軟に適応していけるかが重要であり、日頃から情報活用能力を身につけておくことが欠かせません。

FigJam は無限に広がるキャンバスの表示形式を採用しているため、Jamboard よりもたくさんの情報を蓄積したり、構造化したりすることが可能になります。これにより、教科の枠組みを超えて学びを蓄積していくポートフォリオとしての役割や、クラスや学年を超えたより多くの人との協働といった新たな可能性が生まれてきます。

まずは Jamboard で実践していたことを FigJam に置き換えてみる「代替」としての活用から始めてみるのはいかがでしょうか。多少見え方や仕様は異なりますが、Jamboard でできたことは FigJam でもできます。そして、FigJam の活用に慣れてきたら、Jamboard にはなかった新たな機能を使った実践にチャレンジしてみようをおすすめします。FigJam のよさにもっと気づけるはずです。

このような変化を前向きにとらえ、FigJam を活用する教員が全国の教育現場でこれまで以上に魅力的な授業を実施されることを願っています。

山梨大学教育学部 准教授
三井 一希



無限キャンバスで広がる・深まる

FigJam 授業実践ガイド

〈ベーシック版〉

目次

第1章 まずは知っておきたい FigJam の基本

P.3

FigJam の基本ツールと操作方法

Google Jamboard と FigJam の違い P.4

FigJam の利用を開始する P.5

知っておきたい10のワザ

ワザ 1 ピンチイン・ピンチアウト P.6**ワザ 2** 文字入力 P.6**ワザ 3** 付せん P.7**ワザ 4** 図形 P.8**ワザ 5** 画像・動画挿入 P.8**ワザ 6** リンク挿入 P.9**ワザ 7** セクション P.10**ワザ 8** スポットライト P.10**ワザ 9** カメラ P.11**ワザ 10** リアクション P.11

活動がさらに広がる!多様なツール P.12

授業運営で役立つ機能 P.14

第2章 教育委員会・端末管理者向け FigJam の利用申請

P.17

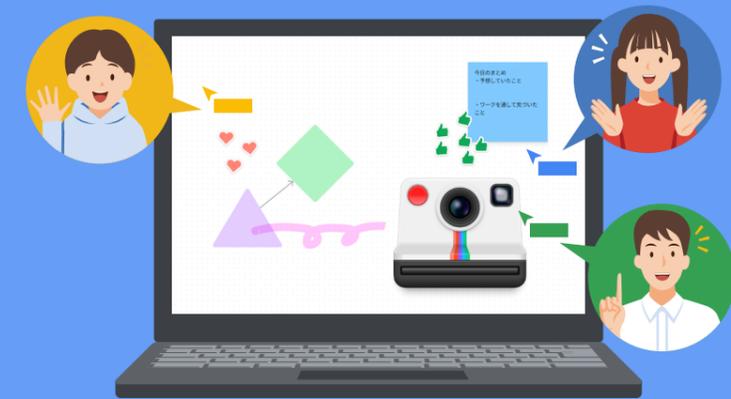
Figma 社への申請 P.18

Figma の設定 P.19

Figma 組織へのアクセスのテスト P.21

第1章

まずは知っておきたい FigJam の基本



目次

FigJam の基本ツールと操作方法

Google Jamboard と FigJam の違い P.4

FigJam の利用を開始する P.5

知っておきたい10のワザ

ワザ 1 ピンチイン・ピンチアウト P.6**ワザ 2** 文字入力 P.6**ワザ 3** 付せん P.7**ワザ 4** 図形 P.8**ワザ 5** 画像・動画挿入 P.8**ワザ 6** リンク挿入 P.9**ワザ 7** セクション P.10**ワザ 8** スポットライト P.10**ワザ 9** カメラ P.11**ワザ 10** リアクション P.11

活動がさらに広がる!多様なツール P.12

授業運営で役立つ機能 P.14

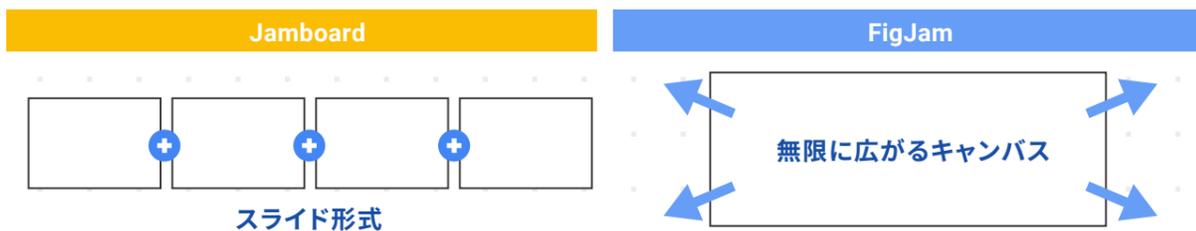
Google Jamboard と FigJam の違い

Jamboard で使用していた手書きや付せん機能等は、FigJam でも利用できます。FigJam は、Jamboard と同等の機能を網羅しており、さらに FigJam 独自のものも多数あります。

Jamboard と FigJam の相違点

	Jamboard	FigJam
同時ユーザー・セッション	50	250 (閲覧のみ 500)
履歴の表示	○	○
手書き・テキスト・画像挿入	○	○
背景画像設定	○	○
付せん	<ul style="list-style-type: none"> 改行不可 無記名 	<ul style="list-style-type: none"> 改行可能 記名 / 無記名選択可能
作業スペース数	20 フレームまで	無制限 (1枚のキャンバスのようなボードが無制限に広がる。セクションを分けることで個別のページのように使用可能)
発表補助ツール	レーザーポインター	スポットライト機能

Jamboard と FigJam の大きな違いは、Jamboard は **スライド形式** であったのに対し、FigJam は FigJam ボード上で **無限に広がるキャンバス** であるということです。



無限に広がるキャンバスだからこそ、時間や空間を広げた学びを実現することができます。1時間の授業にとどまらない学びの蓄積や、Jamboard では 50 セッションだった制限を超えて多くの人と1枚のキャンバスを同時に編集することができるというメリットがあります。また、**授業間での知識の関連付け**、および **クラスや学年を超えた協働学習** を行いやすいというメリットもあり、今まで以上に効果的な指導を行うことが可能になります。本冊子では、すぐに実践できる事例から、新たな学びを創造できる事例まで、幅広く紹介しています。まずは難しく考えず、FigJam を活用してみましょう。



FigJam の機能については動画でも分かりやすく解説しています。

https://goo.gle/video_fig_figjam



FigJam の利用を開始する

FigJam へのアクセスが可能になったら、さっそく利用を開始してみましょう。

※FigJam の利用には、教育委員会様ごとの利用申請が必要となります。利用申請の詳細については P.17 からご参照ください。

ログイン

※子どもも同じ方法でログインします。

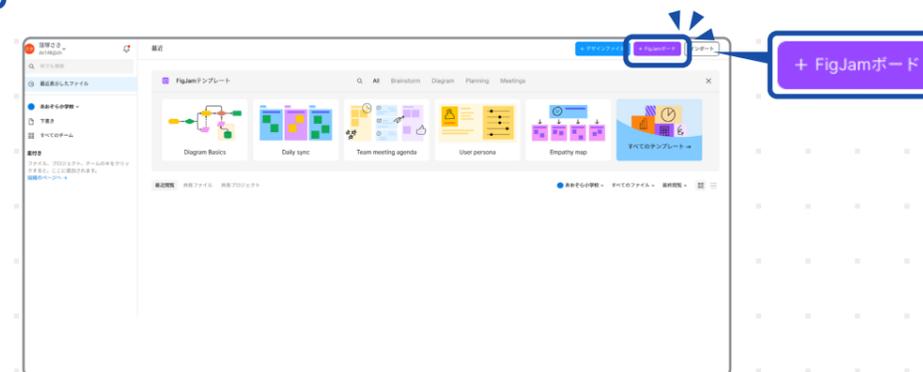
<https://www.figma.com/ja/figjam/> にアクセスし、右上の **ログイン** をクリックします。

Google で続行 を選択し、自治体や学校ドメインのアカウントを選択のうえログインをします。



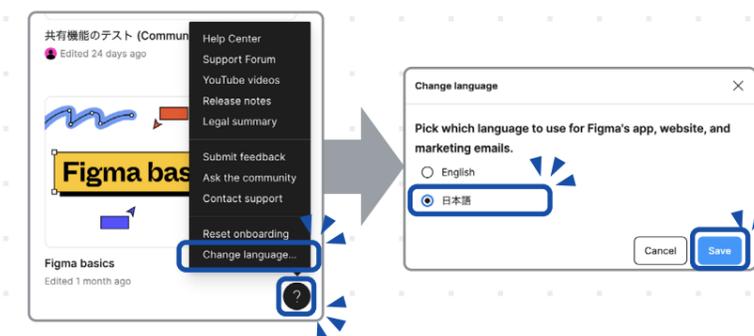
FigJam ボード新規作成

+ FigJam ボード をクリックし、ファイルを新規作成します。



言語設定の変更

画面右下の **?** マークをクリックし、**Change language** を選択します。選択肢に English と日本語がでてきますので、**日本語** にチェックをいれ、**Save** を押します。





FigJam の機能については動画でも分かりやすく解説しています。

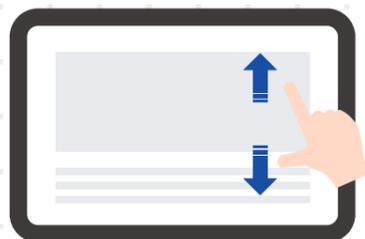
https://goo.gle/video_fig_figjam



ワザ 1 ピンチイン・ピンチアウト

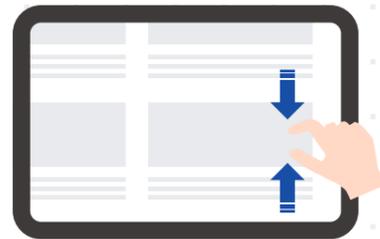
ピンチアウト: 画面を拡大

二本の指で画面を押さえ、指と指を離す



ピンチイン: 画面を縮小

二本の指で画面を押さえ、指と指を寄せる



ワザ 2 文字入力

手書き

ツールバーから ペンツールを選択、色や太さを選択し書き込む

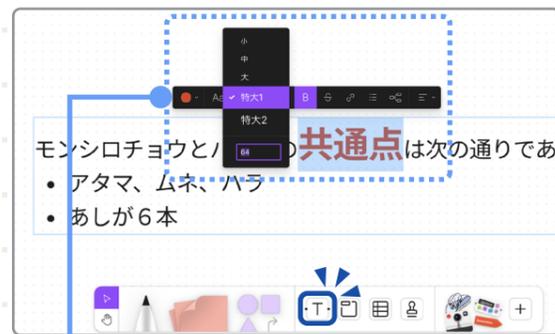


Tips マーカーのみでなく、蛍光ペンや消しゴム等を選ぶこともできます。



タイピング

ツールバーから テキストツールを選択、色や文字の大きさを選択し書き込む



Tips 文字の大きさや色、太さを変えたり、箇条書きリストの形で書くこともできます。

フォントサイズ 太字 箇条書きリスト



ワザ 3 付せん

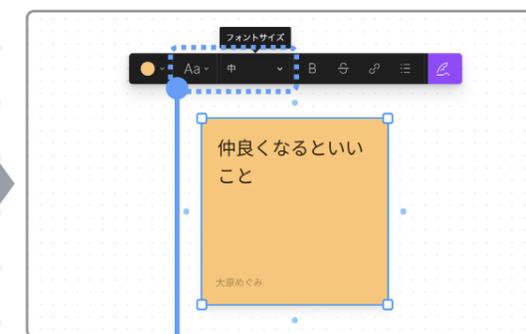
付せんを使って意見を集約

ツールバーから 付せんツールを選択、付せんの色を選ぶ



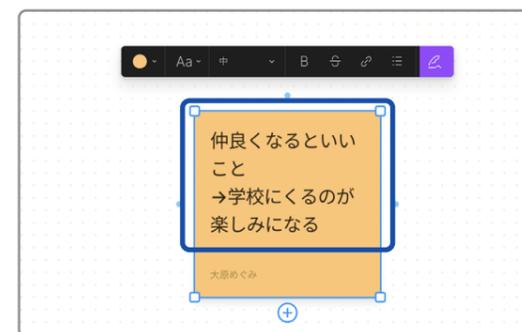
Tips 付せんには作成者が記入されていて、誰が書いたか分かるようになっています。

付せんに記入する

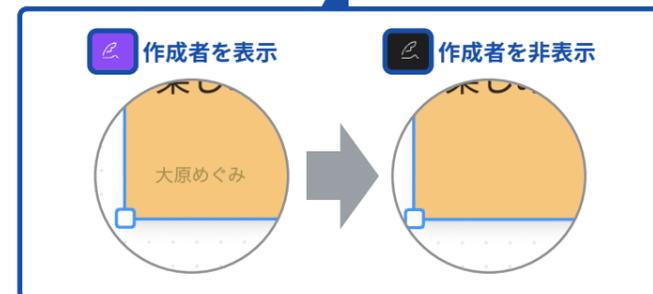
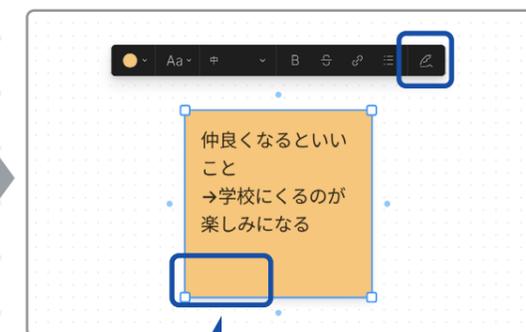


Tips 付せん内の文字の大きさやフォントを指定できます。

テキストが長くなる場合は **Enter** キーで改行をして記入できる



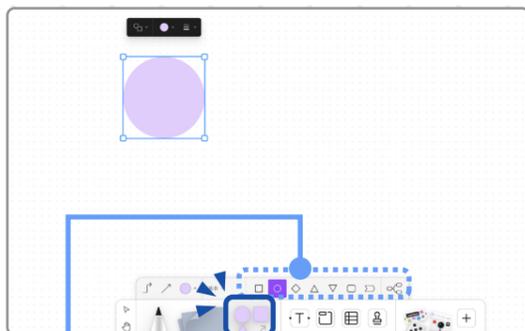
作成者を表示 / 非表示 を押すと作成者の表示 / 非表示を切り替えることができ、匿名でテキストを記入することもできる



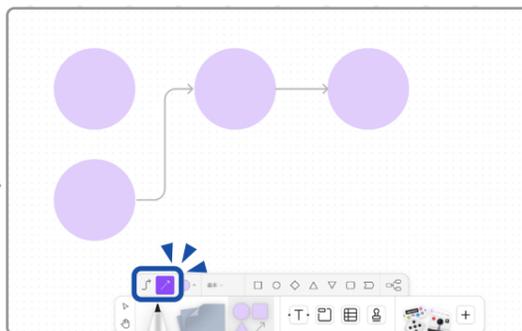
ワザ 4 図形

いろいろな形を使って情報を整理

ツールバーから **図形ツール** を選択、
任意の場所を選択しクリックして挿入



ツールバーから **コネクター** を
選択し、図形と図形をつなぐことで
情報を整理することができる

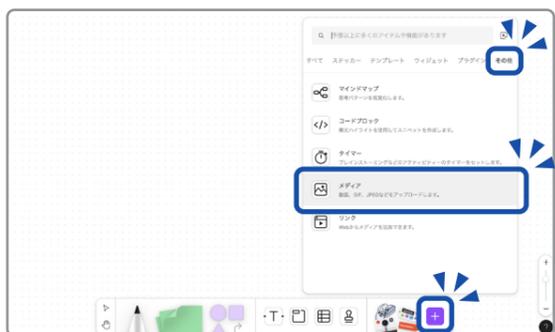


Tips
図形を複数の中から選択できるので、情報の
意味ごとに形を変えることもできます。

ワザ 5 画像・動画挿入

画像や動画挿入で具体的なイメージを表現

ツールバーの **マーク** の中にある
その他のタブ から、**メディア** を選択



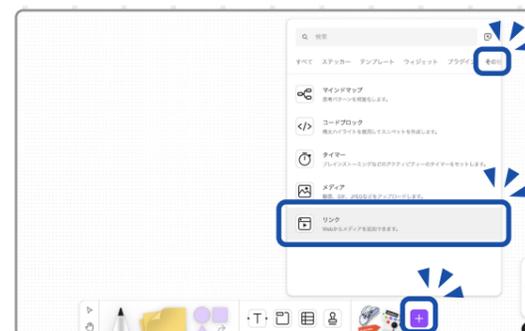
メディア の中から希望の画像や動画を
選択すると、FigJam ボード上に
貼り付けることができる



ワザ 6 リンク挿入

根拠情報等の URL を共有

ツールバーの **マーク** の中にある
その他のタブ から、**リンク** を選択



共有したいリンクを入力し、**追加** を押すと、
リンクの内容を FigJam ボード上に
貼り付けることができる



Tips
FigJam ボード上に、
直接 URL をコピー&
ペーストで貼り付ける
こともできます。

貼り付けた URL のサムネイルを選択することで該当の Web サイトを閲覧できる

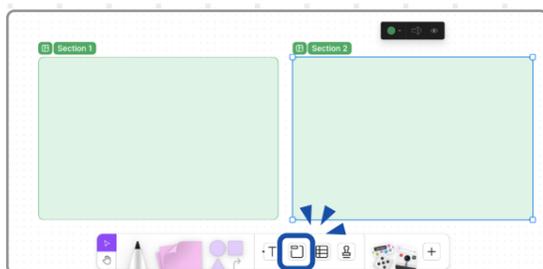


Tips
一般的な Web サイト
の URL のみでなく、
Google ドキュメントや
Google スライド等のリ
ンクを追加することも
できます。ドキュメント
やスライド等を追加し
た場合は、FigJam ボード上で直接編集する
こともできます。
※Google Workspace で作成したデータを別途、共有して
いると、FigJam 上でも閲覧、または編集することができ
ます。

ワザ7 セクション

個人の作業スペースができる

ツールバーから **セクション** を選択、
任意の場所を選択してクリックして挿入



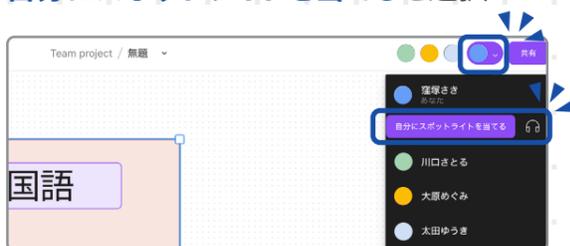
セクションに入れた図形や付せん等は
まとめて移動させることができる



ワザ8 スポットライト

自分の画面を見てほしいとき

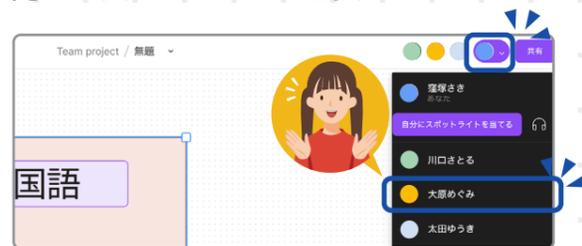
画面右上の自分のアイコンマーク横の
矢印ボタン をクリックし、
自分にスポットライトを当てる を選択



FigJam ボード上の全員に
自分の画面を共有できる

他者の画面を見たいとき

画面右上の自分のアイコンマーク横の
矢印ボタン をクリックし、
見たい人のアイコン を選択

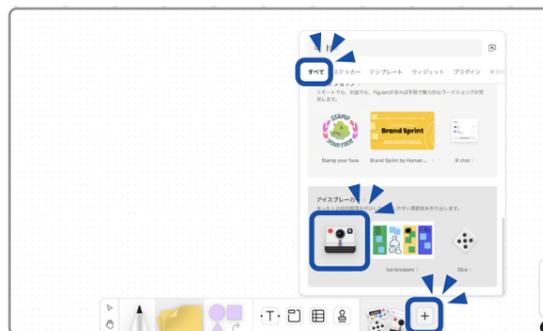


アイコンを選んだ人と
同じ画面に移動することができる

ワザ9 カメラ

自撮りや目の前の観察対象を撮影し挿入する

ツールバーの **+** マークの中にある
すべてのタブから **アイスブレイカー** を選択
ウィジェットから **Photo Booth** を選択



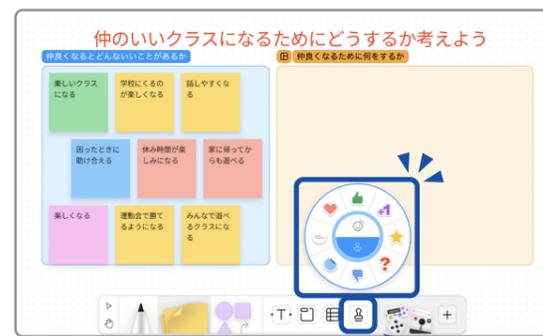
カメラアイコンの左上の赤いボタン を
押し、**撮影ボタン** を押して撮影
※初回は、カメラへのアクセス許可を行ってください。



ワザ10 リアクション

子ども同士のコミュニケーションを活性化する

スタンプツール から押したいスタンプや
リアクションを選択



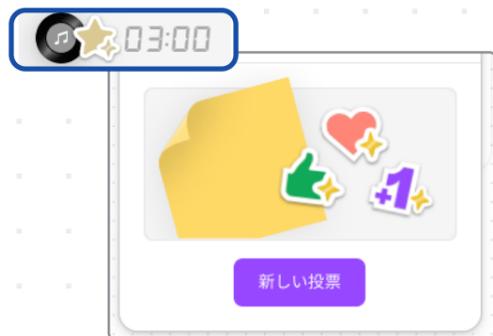
選択したスタンプを自分やクラスメイトの
付せん等に押し、リアクションを
リアルタイムに共有したりできる



Tips
選択ツールを選択している状態で、スタンプの上にカーソルを置くと、誰が押したスタンプか確認することができます。

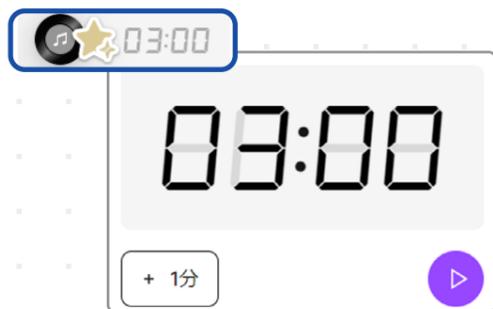
1 投票

リアルタイムに投票と投票結果を確認できる



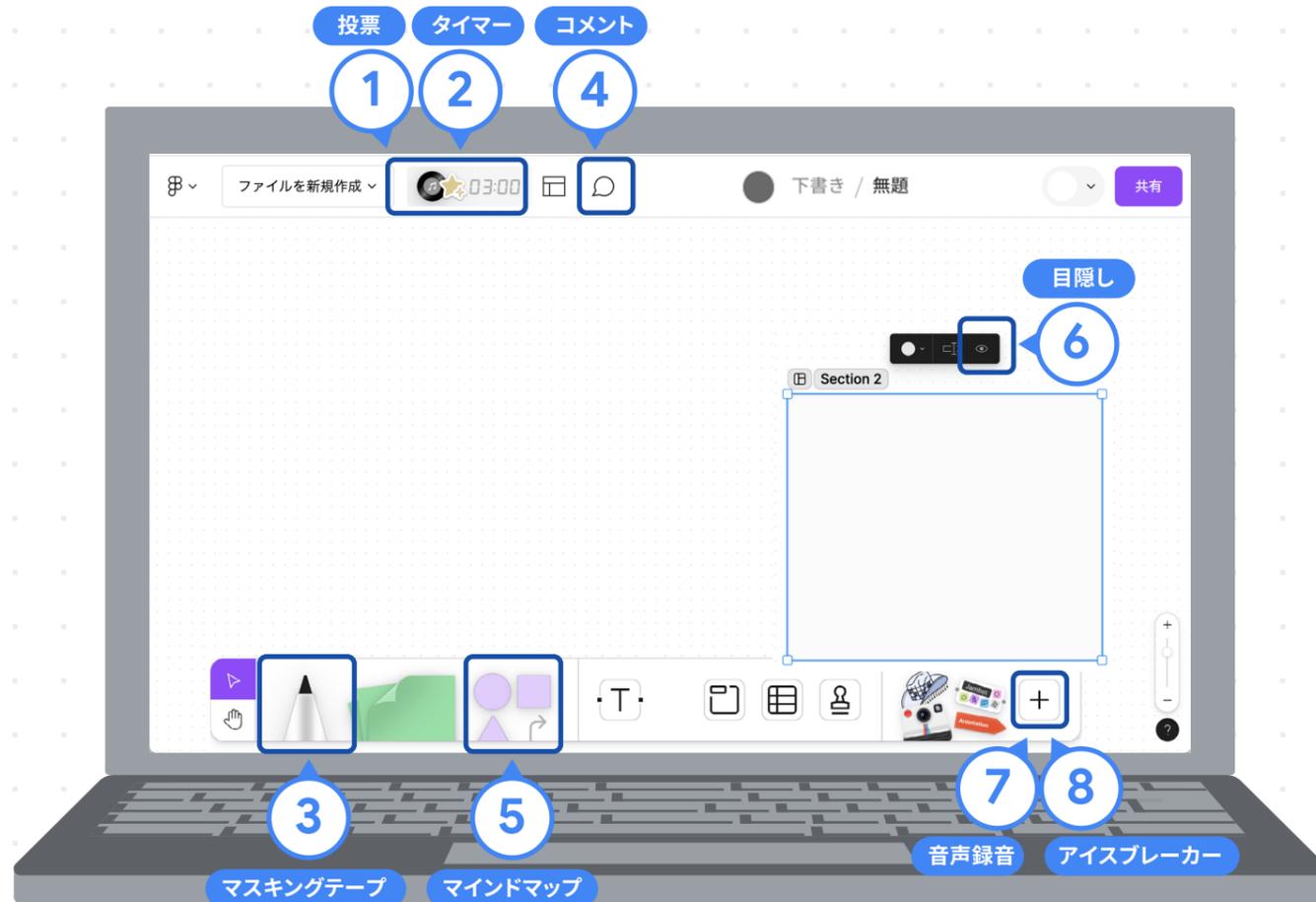
2 タイマー

活動に必要な時間をセットし、集中力を高めることができる



3 マスキングテープ

マスキングテープを貼ることができる。單元ごとの区切りや境目等に使うと便利。



4 コメント

コメントのやり取りが簡単にでき、協働学習に便利。メンションして特定の相手にコメントすることも可能



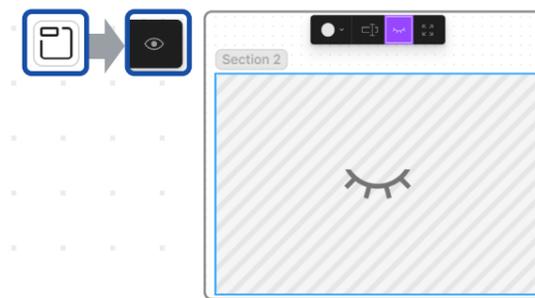
5 マインドマップ

フォーマットを使って思考を可視化できる型が用意されており、思考を可視化し、考えていくことを補助できる



6 目隠し

該当のセクションを選択し、**セクションを非表示**を押すとセクション内に記入した内容を隠すことができる



7 音声録音

音声を録音することができる。子どもに録音させて音声課題を提出させることも可能



8 アイスブレイカー

似顔絵を描くテンプレートやサイコロ等、初対面でも話しやすい雰囲気を作りだすことができる



FigJam の基本的な機能を理解した後はいよいよ実践です。FigJam を実際に活用する際に、チームの作成方法や、FigJam ボードの共有、変更履歴の確認方法についてご紹介します。また、最後に Jamboard のファイルのインポート方法についても解説しています。

チームの作成

FigJam のチームとは、**Google Classroom のクラス**のようなものです。チームを作成しておくことで、テンプレートの共有がしやすくなります。教科やクラス単位でチームを作成すると管理がしやすくなります。

FigJam にログインし、画面左側の**組織アカウント名**をクリック



すべてのチームを選択



右上の **+ チーム** を選択



チーム名を記入し、**アクセス権限**を選択



プロジェクトの作成

プロジェクトは、FigJam ファイルをためておくフォルダのようなものです。

作成したチームに入り、右上の **+ プロジェクト** より作成することができます。クラスごとにチームを作成している場合は、チーム内に各教科のプロジェクトを作成することをおすすめします。



ファイルの共有

共有したいファイルを開き、**共有** をクリックし、ファイルへのアクセス権限を設定します。**リンクをコピーする** をクリックし、Google Classroom に**リンクを投稿** します。



テンプレートの共有

作成したテンプレートを公開することで、FigJam ボード画面左上の **テンプレート** よりいつでも利用できるようになります。

画面右上の **共有** をクリックし、**テンプレートを公開** を選択

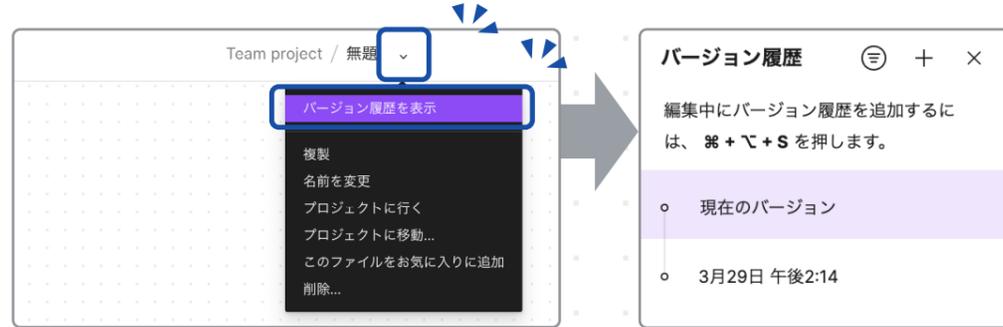


テンプレートの**公開** をクリック



変更履歴の確認

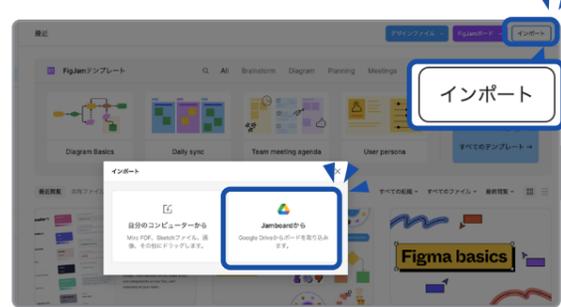
ファイル名の横の  を押し、バージョン履歴を表示をクリックすると、変更履歴が表示されます。



Google Jamboard からのデータ移行

FigJam にログイン後、ホーム画面右上のインポートから Jamboard からを選択することでデータを移行できます。Google ドライブ連携の承認画面がでたら、接続を選択してください。

インポートをクリックし、Jamboard からを選択



※10月1日以降、Jamboard からのデータインポートはできなくなるのでそれまでにご対応いただけますと幸いです。

接続をクリック



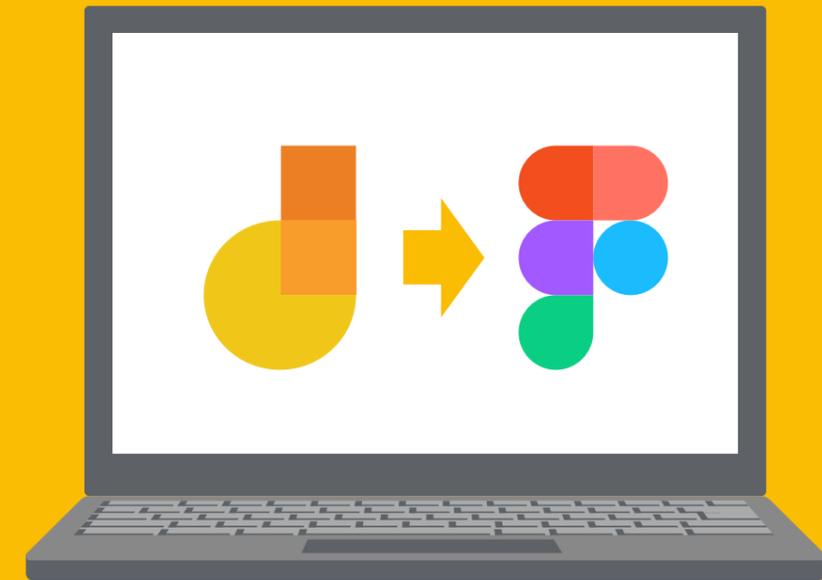
インポートするファイルを選択し、Select をクリック



第2章

教育委員会・端末管理者向け

FigJam の
利用申請



目次

Figma 社への申請..... P.18
 Figma の設定..... P.19
 Figma 組織へのアクセスのテスト..... P.21

FigJam は Figma 社が提供する製品で、学校向けに無料で提供されます。申し込みは Google Workspace for Education 同様に教育委員会が行います。設定は、次の 3Step で実施できますので、手順に沿って手続きをお願いします。申し込みから利用開始までお時間がかかる場合もございますので、7月末までに利用申請を行い、9月30日までに Google Jamboard からのデータ移行を完了いただくことを推奨しております。利用申請が完了すると、Jamboard からのデータ移行をすることができます。(P.16 参照)

Step1 > Figma 社への申請

FigJam の利用には、提供元の Figma 社への申請が必要です。
申請は教育委員会など、Google Workspace の特権管理者アカウントをお持ちの方が代表して行うようお願いします。

申請フォームへの記入

1. 右記の URL にアクセスし、今すぐ始めましょうをクリックして登録を開始
2. フォームの必須項目をすべて入力
3. 一番下の確認事項をチェックし、申請するをクリック

1. 申請フォーム



figma.com/chromebooks

無料 Figma アカウントの作成

組織の管理者として、Google Workspace を通じて FigJam のライセンスを有効にする前に、無料の Figma アカウントが必要です。下記手順でアカウントの作成をお願いします。
※組織のドメインに関連付けられている Figma アカウントを既にお持ちの場合は、この手順を省略できます。

1. 右記の URL から、Figma にアクセス
2. 無料で始めるを選択
3. Google で続行をクリックし、組織のメールアドレスでログイン
4. 個人情報フォームに、利用シーンなど最も適した回答を入力
5. 無料で始めるをクリックし、スターターチームを選択

1. Figma にアクセス



figma.com/ja



言語が英語表示になっている場合、P.5に記載の方法で日本語に切り替えてください。

7. 教育ステータス確認



figma.com/education/apply

※教育ステータスを確認しない場合、アップグレードを促すメールが送られてきます。これらのメッセージは無視してください。

Step2 > Figma の設定

下記の手順で、Google 管理コンソールから Figma の設定を行ってください。

Figma アプリのインストール

1. Google 管理コンソール (右記の URL) に特権管理者アカウントでログイン
2. 管理コンソールから、デバイス > Chrome の順にクリック
3. アプリと拡張機能 > ユーザーとブラウザをクリック
4. アプリを付与する組織部門を選択
 - ①ドメイン内の全員に設定を適用する場合：一番上の組織部門を選択
 - ②一部の組織に適用する場合：子組織部門を選択
5. 右下の黄色い追加ボタンをクリック
6. ポップアップ表示される 4 つの丸の一番上にある地球儀のアイコンを選択し、URL で追加の URL 入力欄に「https://www.figma.com/ja/」を追加し保存
7. 「Figma」アプリのインストール ポリシーで、自動インストールして ChromeOS タスクバーに固定するを選択
8. 右上の保存をクリック

1. ログイン



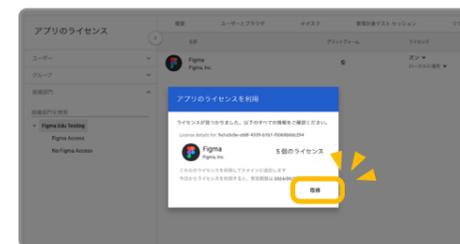
admin.google.com



これらの操作を行うことで、Chromebook のランチャーから Figma アプリを選択できるようになります。

Figma ライセンスの取得

1. Step 1 の後、Figma 社の担当者より別途ご案内するライセンス取得用 URL をクリック
2. 表示されているアプリとライセンスの数量が、申込時の申請内容と一致していることを確認し、取得をクリック



3. 画面に表示される手順に従い設定し、右上の保存をクリック

Figma ライセンスの展開

1. Google 管理コンソールにログインし、デバイス > Chrome > アプリの拡張機能 > アプリのライセンス ページで「Figma」アプリを選択
2. ドメインまたはアクセスを許可したい組織部門ごとに、アプリのライセンスをオンに変更
3. 右上の保存をクリック



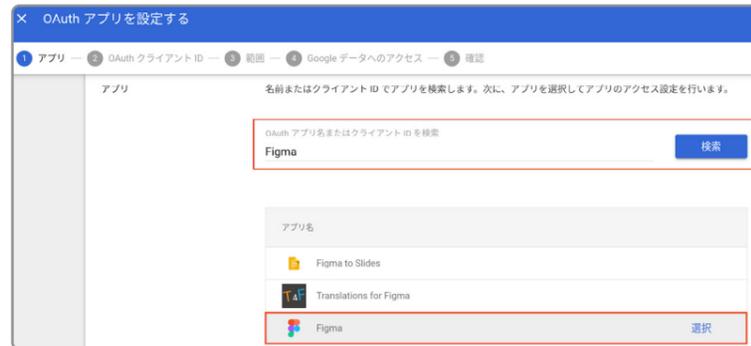
アプリのライセンスをはじめてオン(有効)にすると、アプリの API アクセスを承認するよう求められます。確認のうえ、チェック欄にチェックを入れて承諾をクリックしてください。



Step2 > Figma の設定 つづき

Figma アプリのアクセスと信頼設定

1. Google 管理コンソールから、セキュリティ > アクセスとデータ管理 > API の制御 > サードパーティ製アプリのアクセスを管理 と遷移します
2. 「アプリのアクセス制御」ページのアプリを追加 > OAuth アプリ名またはクライアント ID より Figma アプリを検索します



3. 「Figma」アプリを選択しアクセス権限を変更をクリック
4. 範囲（すべて、または指定の組織部門）を決定
5. 次に信頼設定を行います
Google データへのアクセス設定画面で、信頼できるを選び次へをクリック



6. 確認画面でアクセス設定を確認しアクセス権限変更ボタンを押す
7. ここまでの設定が完了したら FigJam 担当者までメールで完了報告を行う

Tips

完了報告後、組織のアカウントが作成され、ご自身のアカウント、または指定された別のアカウントが管理者としてアップグレードされると、通知が届きます。
通知が届いたら、次ページの Step3「Figma 組織へのアクセスのテスト」を実施してください。

Step3 > Figma 組織へのアクセスのテスト

Figma 管理者アカウントの確認

1. 右記 URL から Figma にアクセス
2. ログインを選択し、Google で続行をクリックし、組織の管理者メールアドレスでログイン
3. 左のツールバーで「学校名または地区名」「管理者」の項目を確認し、組織のアカウントであることを確認

1. Figma にアクセス



figma.com/ja



Tips

組織名と管理者設定タブが表示されない場合は、外部チームが表示されている可能性があります。
ファイルブラウザから、「外部チーム」の隣にあるドロップダウンを選択し、地区名または学校名を選択してください。

FigJam のヘルプページ

FigJam の最新の機能情報についてご確認いただけます。また、FigJam ボード右下の?からもお問い合わせいただくことが可能です。



<https://help.figma.com/hc/ja>

FigJam 研修

Chromebook ご採用自治体の教育委員会ご担当者様、教職員様向けの操作研修を実施しています。



https://goo.gle/training_fig_figjam

無限キャンバスで広がる・深まる

FigJam 授業実践ガイド

〈ベーシック版〉

Web版はこちらから
ダウンロードできます。

https://goo.gle/fig_supportbook_figjam



Google for Education

Spring 2024

発行元 Google for Education

監修 佐藤 和紀 信州大学教育学部 准教授
泰山 裕 中京大学教養教育研究院 教授

編著 三井 一希 山梨大学教育学部 准教授

執筆協力 近江 悠太 静岡市立長田南小学校 教諭
吉田 康祐 静岡市立番町小学校 教諭

制作 BASE_C